


(7) 箱根西麓地区

地区の概況と緑の課題

位置図	ア 地区の概況
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 箱根の西麓 60～900m の山地になっており、大部分が市街化調整区域です。 ・ 農地と森林、既存集落から構成されています。 ・ 農業従事者の減少から休耕地が見られます。
イ 緑の課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 山田川、沢地川などの生態系の保護と水質の保全が求められます。 ・ 森林の保水機能・防災機能の回復を図るため、森林の手入れを積極的に進めていくことが求められます。また、森林の保全に対する市民の理解を求め、保全活動への参加を促進するため、環境保全、野外学習等、市民参加のための様々なプログラムづくりが求められます。 ・ 集落に近い里山の自然環境の保全が求められます。 ・ 旧東海道、子供の森、箱根の里、山中城跡などの既存資源を活用し、ハイキングコースを整備するなど、住民等の身近なレクリエーションエリアとしての整備が求められます。 	

方針

森林の水源かん養 機能、山地の災害防止機能・生物多様性保全機能の低下が懸念されることから、様々な手法を講じ、また、市民の参加も求めながら森林の維持管理を図ります。

森林を活かした、様々なレクリエーション・歴史的・文化的活動・環境教育・野外学習活動、イベント実施の充実を図ります。また、旧東海道、(推定)平安鎌倉古道 を軸にした、様々なレクリエーション活動等に資する拠点形成を検討します。

ア 地区コンセプト

“ 市民参加による森の活性化と魅力づくり ”

イ 実現の方向

緑と道のクラスター 軸の形成 (旧東海道・(推定)平安鎌倉古道の活用) 山中城跡一帯の歴史的環境の保全・整備 子供の森周辺一帯の保全と再整備 集落に近い里山の自然環境の保全	旧東海道・(推定)平安鎌倉古道を活かしたレクリエーション拠点の形成 箱根の里周辺地域の保全と野外活動拠点の形成 丘陵部の住宅地を囲む森林の保全 (風致地区 等の指定検討)
---	---

水源かん養 : p.10 参照

(推定)平安鎌倉古道 : p.36 参照

クラスター : p.15 参照

風致地区 : p.31 参照

方針図

